

名古屋大学環境学研究科・助教公募要領

1	募 集 件 名	助教の公募（女性限定）	
2	所 属	大学院環境学研究科 社会環境学専攻 環境政策論講座	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容]</p> <p>（雇入れ直後）</p> <p>人文学・社会科学（公共政策学、経済学、法学、政治学、社会学、地理学、歴史学、哲学、倫理学など）をベースに、環境政策論の分野において、環境学研究科の中長期ビジョンに貢献できる次のような人材を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端のおよび文理融合型の環境学教育の推進 ・環境分野の仕事に携わる人材と幅広い知識を持つ専門家の育成 ・社会環境学の学理を深める研究の実施 ・理学・工学分野との学際的研究や企業、政府・自治体、NPO 等との超学際的な研究の実施 <p>とりわけ大学院生の研究指導に意欲的に取り組むこと。また、研究科の推進する地球規模課題の解決に資する文理融合型の共同研究に取り組むことが期待される。</p> <p><担当授業科目（予定）></p> <p>共同で担当する授業科目（予定）は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程および博士後期課程の環境政策論の関連分野に関する講義とセミナー <p><その他></p> <p>全学関係の業務、環境学研究科および社会環境学専攻の教務・庶務、環境政策論講座の講座運営等に関する庶務</p> <p>（変更の範囲）</p> <p>東海国立大学機構が指定する業務</p> <hr/> <p>[勤務地]</p> <p>（雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区</p> <p>（変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所</p> <hr/> <p>[募集人員] 助教（任期有）・1名</p> <hr/> <p>[着任時期] 2025年4月1日</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	環境保全対策およびその関連分野
		小分類	環境政策および環境配慮型社会関連
5	勤 務 形 態	常勤（年俸制） 任期3年・再任なし	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <p>1）女性であること（「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）に基づき、女性の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施する。）</p>	

		<p>2) 博士の学位を有すること、または取得見込みであること</p> <p>3) 人文学・社会科学をベースに環境政策に関連する優れた研究実績を有すること</p> <p>4) 環境学研究科における教育・研究指導を担えること</p> <p>5) 研究科の推進する地球規模課題の解決に資する文理融合型の共同研究に取り組めること</p> <p>6) 教育・研究指導のために十分な日本語能力を有すること</p>
7	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。
8	応募期間	2024年7月10日～2024年9月30日
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 履歴書（学歴、職歴、賞罰、学会における活動、社会における活動） 2) 研究業績目録（以下の5項目に分けて記載すること） <ul style="list-style-type: none"> ・著書（単著・共著・分担執筆等の別を併記すること） ・原著論文（査読の有無を併記すること） ・その他の出版物 ・研究発表（招待・基調・一般講演、口頭・ポスター等の別を併記すること） ・競争的資金の獲得実績（代表者・分担者等の別を併記すること） 3) 主要な著書・論文の別刷またはコピー（合わせて3編以内、著書の場合は現物も可とする） 4) 現在までの研究・教育・社会活動の概要（A4、書式・枚数は任意） 5) 今後の研究と教育に関する抱負（A4、書式・枚数は任意） 6) 類型該当性の自己申告書（様式1）（「10みなし輸出について」参照） <p>以上の書類を紙媒体ではなく、PDFファイルで作成し、それを収めたCD・DVD・USBメモリ等を、「環境政策論講座教員応募書類在中」と朱書き（表面）した封筒に封入の上、応募期間内（必着）に下記宛に簡易書留等で郵送すること。なお、主要業績に書籍がある場合は、書籍現物を提出すること。</p> <p>[提出書類の送付および問い合わせ先]</p> <p>〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科 中野牧子 Tel: 052-789-4749 Email: nakano.makiko.a2@f.mail.nagoya-u.ac.jp</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、2024年11月～12月中旬（予定）の期間に面接を実施する。なお面接は、場合によりオンラインで実施することがある。 ・面接実施者については、電話または電子メールで連絡をおこなう。上記の履歴書中に、電話番号・電子メールアドレス等、連絡先を必ず記載すること。
10	みなし輸出について	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の

		<p>一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、教職員として本学に応募される際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。特定類型該当性の自己申告書（様式 1）を以下の URL からダウンロードした上で、様式 1 に付記されたフローチャートを参考に作成し、その PDF ファイルを他の応募書類とともに送付してください。</p> <p>https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/4ECnPjf2bq6i7qf</p> <p>なお、採用が決定した場合は、「誓約書」の提出が必要になります。</p>
11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しない。 ・ 郵便事情等によって応募書類（CD・DVD・USB メモリ等やその中のファイル）の破損が疑われるときには、電子メール等によって応募者に確認することがある。 ・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しない。ただし、主要業績として提出した書籍の返却を希望される場合は、必ず返信先を記した返信用の封筒を同封すること。 ・ 面接に要する費用（交通費・宿泊費等）は支給しない。